

# J A C S

## NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニュースレター

第25巻第1号

発行日●2017年4月20日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

### 第54回 消費者行動研究コンファレンスの概要

#### <統一論題>

### 消費者行動論の NEXT WAVE

春の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内いたします。  
第1日目には、SCP ゲストスピーチ、会員総会、会長講演、口頭発表を予定しています。第2日目には、ラウンドテーブル、口頭発表を予定しています。

#### －開催概要－

開催日程: 2017年5月20日(土)・21日(日)  
※懇親会は5月19日(金)にSCP-JACSCollaborative Conferenceと合同で開催  
会場: 慶應義塾大学三田キャンパス(東京都港区)  
研究会参加費: 4,000円[学生:2,000円]  
※非会員の学生は、会場受付にて学生証の提示が必要になります。  
参加申込: JACS Web サイト(<http://www.jacs.gr.jp/>)、FAX で受け付けております。  
参加申込締切: 5月6日(土)必着

#### 〔第1日目〕

9:55 - 10:00 開会の辞  
10:00 - 12:30 SCP ゲストスピーチ  
講演者: Prof. J.J.Inman  
パネルディスカッション(Inman・Peck)  
12:30 - 14:00 昼食休憩(役員会)  
14:00 - 15:30 会員総会  
15:30 - 16:30 会長講演  
講演者: 清水聰(慶應義塾大学)  
「研究者として生き残っていくには」  
16:30 - 18:00 口頭発表

#### 〔第2日目〕

10:00 - 12:00 ラウンドテーブル  
12:00 - 13:00 昼食休憩  
13:00 - 15:00 口頭発表  
15:00 - 15:05 閉会の辞

■懇親会について:今回は、JACS 単体での懇親会はございません。

詳しくは、P2の「SCP-JACSCollaborative Conferenceのお知らせ」をご参照ください。

## SCP-JACS Collaborative Conferenceのお知らせ

前号でお知らせした、SCP-JACS 共催の概要が決まりましたので、ご案内申し上げます。

日時：2017年5月17日（水）～5月19日（金）

場所：慶應義塾大学三田キャンパスなど

日程：5月17日（水）ウェルカムパーティ

5月18日（木）エクスカージョン、ならびにカンファレンスディナー

5月19日（金）カンファレンス、ならびにフェアウェルパーティ

発表者：C. W. Park, Andrew Stephen, Rhonda Hadi, Yakov Bart, Joann Peck, Catherine Yeung, Joachim Vosgerau, Anirban Mukherjee, Mathieu M.P. Lajante, Uzma Khan, Bernadette Kamleitner, Ajay Kalra, Curtis P. Haugtvedt, Leonard Lee, Hao Shen, Hannah Chang, Cecile Cho, James M. Leonhardt, Eline de Vries, Jeff Inman

日本からは、山本晶先生（慶應義塾大学）、杉谷陽子先生（上智大学）、里村卓也先生（慶應義塾大学）、水野誠先生（明治大学）、鈴木智子先生（一橋大学）、松下光司先生（中央大学）。

参加費：

Aコース 3日間（17日：ウェルカムパーティ、18日：エクスカージョン（昼食込み）、ウェルカムディナー、19日：カンファレンス（昼食込み）、フェアウェルパーティ）28,000円

Bコース（19日のカンファレンス（昼食含まない）＋フェアウェルパーティ）15,000円

Cコース（19日のカンファレンス（昼食含まない）のみ）10,000円

学生特別料金：Aコース 15,000円、Bコース 10,000円、Cコース 5,000円

参加申し込み：Aコースはオンライン登録と決済が可能です。それ以外はオンライン登録、お支払いは当日の予定です。Aコース以外については、詳しくは決まり次第、JACSホームページでアナウンスします。

第1日 5月17日（水）

夜：ウェルカムパーティ（セレスティンホテル、立食）

第2日 5月18日（木）：エクスカージョン

午前：本田技研工業本社にて本田技研のマーケティングの講義と体験

午後：良品計画本社（サンシャイン60会議室）にて広報戦略を拝聴

夕方：銀座の無印良品見学など

夜：カンファレンスディナー（セレスティンホテル、着席）

第3日 5月19日（金）：カンファレンス

午前：カンファレンス（5名×2トラック：予定）

午後：カンファレンス（4名×2セッション×2トラック：予定）

企業の事例報告（株式会社インテージ、大日本印刷株式会社）

パネルディスカッション（登壇者未定）

夜：フェアウェルパーティ（慶應義塾大学ファカルティクラブ）

なお、セレスティンホテル（慶應義塾大学より徒歩10分）で、宿泊特別料金プランを設定しております。※詳しくは、SCP-JACSプログラムをご覧ください。

## —統一論題—

## 「消費者行動論の NEXT WAVE」

田中洋（中央大学）

第4次産業革命と言われ、AIやIoTなどの新しいテクノロジーの到来に伴って消費者行動に新しい変化がもたらされようとしています。

こうした変革に生活者は意外と無自覚です。実際、我々の生活パターンは、スマートフォンの導入ひとつをとってみても大きな変化がもたらされているはずなのですが、いったんそのような生活パターンになじむと、それを当然のように思ってしまい、なんら新しいことではないと受け止めがちです。

Googleは我々がスマホで短い時間を活用して、何かを探索していることを、マイクロモーメントと表現していました。つまり我々の生活はスマホの導入によって、ごく短時間で新しい知識を得たり、他者と通信できるように変化してきており、それが購買の意思決定ひとつ取っても何らかの変化をもたらしているはずですが、車を買うことを例にとってみても、以前は購買以前にディーラーに7回通った購入者が現在では1回しか訪問しなくなったのだそうです。

また一方で、ミニマリズムなど新しい消費スタイルも台頭しています。モノを持たないことが新しい価値と認識されたり、モノを捨てることが新しいライフスタイルと考えられるようになったのです。

消費者行動論は、こうした新しい生活スタイルについて、従来も、後追いという形ではあれ、キャッチアップして新しい成果や発想をそこから得てきました。例えば、ブランド・コミュニティやデジタルコミュニケーションなどの研究テーマです。

また、研究方法の面からも、新たなデジタルデバイスやシステムが導入されることによって、新たなアプローチが可能になっています。近年では、アイトラッキングやGPSを用いた手法も取り入れられるようになりました。

こうした流れを踏まえて、今回のコンファレンスでは、新しい消費者行動論研究の到来を期待して、「消費者行動論の Next

Wave」をテーマとして設定しました。具体的なテーマを提示するよりも、むしろ幅広いテーマを設定することで多くの萌芽的な研究を引き付けられるのではないかと考えたからです。

またこうした萌芽的研究テーマの討議を可能とするため、今回、「ラウンドテーブル」という形式を導入することにいたしました。ラウンドテーブルとは、新しい研究テーマをもった会員が、一人で、あるいは数名がリードして、討議の場を開催することです。

こうした形式はACRにおいても従来から採用されており、カジュアルでありながら、志をともにする研究者たちが集中的に検討を行うことで新しい研究の方向性が見えてくるのではないかと考えたのです。また、このラウンドテーブルという形式は、前回から導入された公募シンポジウムの流れを引き継いでいます。

以前、ACRコンファレンスのラウンドテーブルに参加したときの経験をお話します。数名のディスカッサントが集まり、実に多様なテーマに基づいて議論が展開されているのが印象的でした。例えば、進化心理学アプローチ、神経心理学研究など、こうしたテーマを見ているだけで、これからはこのテーマが重要になるのかな、と思わせました。また最近亡くなられた研究者を追悼して、その業績を語るなどのセッションもありました。こうした経験から、ラウンドテーブルは多様なテーマに対応でき、また肩に力を入れず、集中的に議論できる形式ではないかと考えています。

今回、全体で5-7のラウンドテーブルを予定しています。ぜひ会員の方々には、積極的に参加していただき、活発な議論が展開されることを期待しております。

## —JACS 論文プロポーザル賞 優秀賞—

## 「友人との旅行における個人の役割知覚と行動生起メカニズム」

豊田紗綾（一橋大学大学院商学研究科）

この度は、第 16 回 JACS 論文プロポーザル賞優秀賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。審査員の先生方、およびコンファレンス運営にご尽力下さった方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私の興味のあるテーマは、消費者が集団を形成し、集団で何か 1 つの財やサービスを共同で消費する場合に、どのように協調的に意思決定を行っていくのか、という問題です。

このテーマに関しては、「家族」や「組織」といった集団内で誰が、どのように、どのような項目について意思決定を行うのかといったアプローチで多くの研究がなされてきました。例えば、家族内の意思決定についての古典的な研究の一つである Davis(1970)では、夫婦間の意思決定では、夫の影響力が比較的強いことを認める一方で、製品カテゴリによっては妻の影響力が強くなることもあり、製品カテゴリによって夫婦間の意思決定に対する影響力は異なるとしています。その後、家族内での意思決定研究は、夫婦間だけでなく、子どもという主体も含めて知見が深められていきます。組織の購買意思決定に関する研究の大きな潮流は、購買センター (Buying center) と、購買クラス (Buyclass) に関する研究です。これらの研究では、購買に対する情報ニーズ、選択肢の熟慮の必要性、購買タスクの新しさによって、購買に関わる購買センターの大きさや関与度が異なることが議論されています。

このように、家族や組織での集団意思決定に関する知見が多く積み重ねられている一方で、既存研究であまりアプローチがなされていないのは、「友人」との意思決定です。私たちは、友人や仕事の同僚とレストランや居酒屋へ食事に行ったり、映画館や演劇鑑賞に行ったり、イベントに参加したり、旅行にいたり、常日頃から「家族」以外の「他者」と消費を行っています。しかし、既存研究ではこのような友人同士で

どのように意思決定を行っているのか、という問題についてはあまり議論がなされてきませんでした。

私の研究は、このような友人同士で消費の意思決定を行う際、特に、比較的購買リスクが高い旅行サービスを選択する際に、友人間でどのように意思決定を行っていくのか、という問題を明らかにすることを目的としています。

今回のプロポーザルで発表させていただいたのは、3人以上で友人と旅行に行く際に、意思決定に参加する（例えば、ツアーを探したり、メンバー間の話し合いに参加したり、選択肢を絞り込んだりする）意図はどのような心理的メカニズムによって形成されるのかを、既存の組織購買行動への意思決定参加意図形成のモデルを応用することで検証しようとする試みです。

現在は定性的なデータの整理を終了し、取得したデータを用いて定量調査の為の調査票を設計している最中です。さらに今後の研究では、実験手法を取り込み、意思決定への参加行動を観察し、モデルの精緻化を行ってまいりたいと思っております。調査の設計等、まだまだ精緻化が必要な部分も多分にございますが、消費者行動の究明に貢献できるような成果を出せるよう研究を発展させていきたいと思っております。末筆ながら日頃よりご指導を頂戴しております松井先生をはじめとする、諸先生方に改めて深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

**学会費の「銀行振込み」についてのお願い**

銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mail にてご一報いただきますようお願い致します。

**ご所属・ご住所の変更についてのお願い**

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

また、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、手続上、データベースの修正は年 1 回（年度末）となってしまいます。

変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。なお、ホームページからご自身で直接、変更可能ですので、是非ご活用ください。

**新入会員の募集について**

本学会への入会を希望される方は、ホームページから入会申込書をダウンロードの上、必要事項を記入、捺印の上、事務局まで郵送でお送り下さい。

**●入会資格**

[学会会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。但し、学会会員 2 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

**●年会費**

[学会会員] 10,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

**●日本消費者行動研究学会(JACS)事務局のご案内●**

(事務局) 関西学院大学 商学部 須永努研究室  
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155  
Email: jacs.assist@gmail.com

(事務取扱) 日本消費者行動研究学会 事務取扱  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F  
一般社団法人 学会支援機構内  
Tel: 03-5981-6025 Fax: 03-5981-6012 Email: jacs@asas.or.jp

<JACS Website>

<http://www.jacs.gr.jp/>